

スピーチをするときの心構え

- [すばらしい]スピーチや「完璧」なスピーチをする必要はありません。普通でいいんです。
- 八方美人になれないし、なろうとしてはいけません。
- 自分らしくすること。自分の能力以上のことをしようとしなないこと。
- オーディエンスはあなたの見方です。スピーチを聞くためにいるので、野次るためにいるわけではない。
- オーディエンスはあなたに成功して欲しいのです。あなたの成功と一緒に喜びたいのです。
- ジャッジは中立です。敵でも味方でもありません。
- ジャッジもあなたに成功して欲しいのです。学生の失敗を望むジャッジはいません。
- ジャッジはあなたのことが嫌いだから「しかめっ面」になっているのではなく、あなたのスピーチを真剣に聞いているからです。